

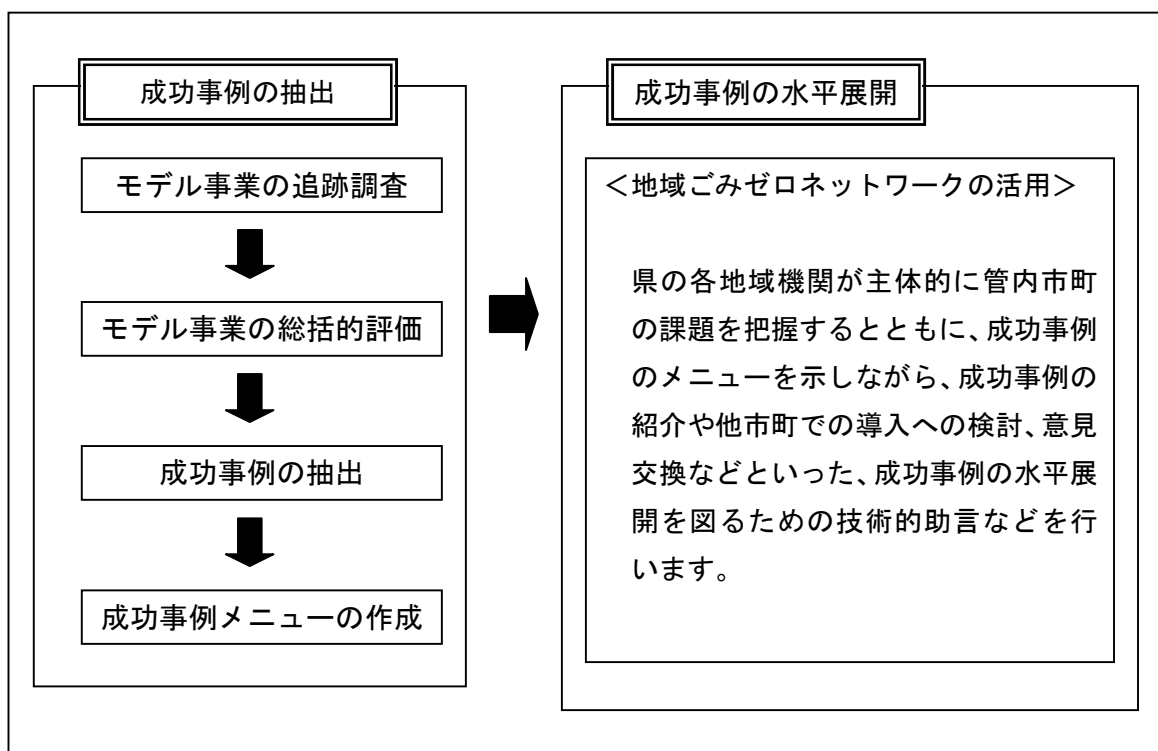
平成24年度ごみゼロ施策の取組内容について

1 市町・NPO・地域団体等と連携した取組

(1) ごみゼロプラン推進モデル事業の成果の普及

平成24年度以降は、これまで行った市町のモデル事業のその後の推移を総括的に評価するとともに、成果のあった事例の水平展開を図るため、既存の地域ごみゼロネットワーク事業を活用し、県の各地域機関が市町に対し技術的な助言を行うなど、成功事例の他市町での導入を図っていきます(図1)。

図1 モデル事業の総括的な評価と水平展開のイメージ



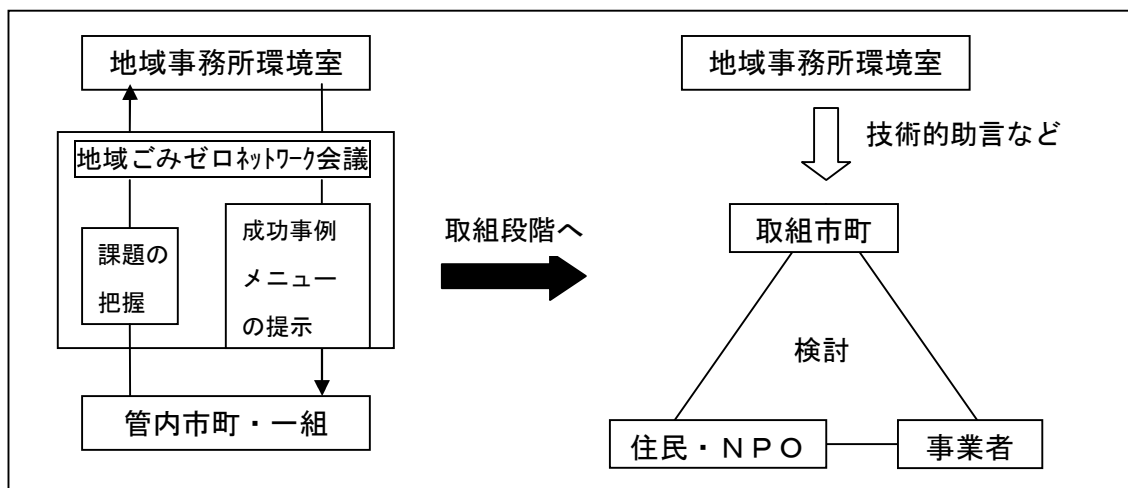
(2) 地域ごみゼロネットワーク

これまで行ってきた啓発型のワークショップやイベントなどの実施だけでなく、具体的なごみ減量化や資源化などの取組の広域化・活性化を図るため、日頃から市町や住民・NPOなどとの関わりが深い地域機関のネットワークを活用し、各地域機関管内の市町や住民・NPOなどと協働して、これまで行ってきたごみゼロプラン推進モデル事業における成果を他市町へ広めるための検討を行っていきます(図2)。

今年度は、これまでのごみゼロプラン推進モデル事業の追跡調査によりモデル事業の総括的評価を行って、成功事例のメニューを作成するとともに、地域機関ごとに地域ごみゼロネットワーク会議(仮称)を開催し、各地域機

関管内の市町又は一部事務組合のごみ行政における課題の把握を行います。

図2 地域ごみゼロネットワークによるモデル事業水平展開のイメージ



また、平成23年度も、例年行ってきた啓発型のイベントなどについても、複数の地域機関の共催とするなどして行っていきます（表1）。

表1 地域ごみゼロネットワーク実施計画

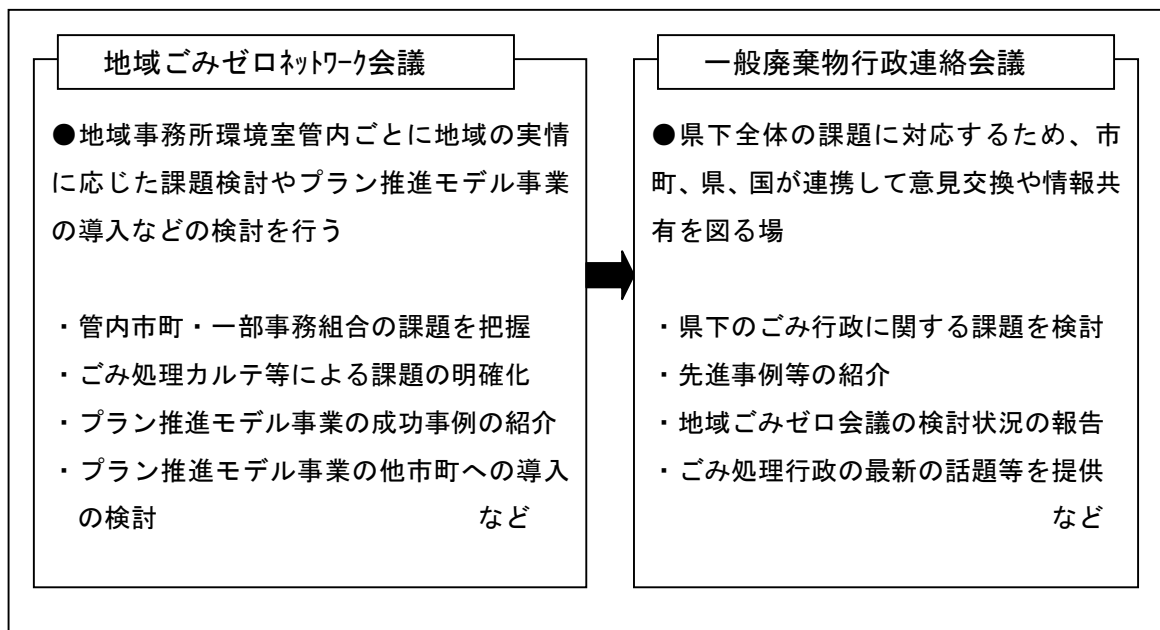
地域機関	名称	概要	参加者予定数
桑名	未定	未定	未定
四日市 鈴鹿	夏の鈴鹿川体験 ～エコ工作講座（仮）～	夏の鈴鹿川体験イベントへの出展 ／エコ工作講座／ごみゼロ事業の PR等	最大50名程度
津	（仮）循環野菜の収穫体験 とごみゼロ体験ツアー（津 市市民エコ活動センター ／有限会社三功様）	3R講座／堆肥化施設見学／循環 野菜の収穫体験	30～40名
松阪	（仮）エコクッキング	子ども向けに生ごみを出さない調 理の工夫などを実習を通して啓発 する	20～30名
伊勢 尾鷲 熊野	（仮）伊勢志摩・東紀州ご みゼロ推進交流会	ごみゼロ関係講演会／パネル展示 等／海浜ごみ拾い	60名程度
伊賀	食品リサイクル・堆肥化施設見 学と野菜収穫体験ツアー （株式会社オンリー様）	堆肥化施設見学／試験栽培野菜の 収穫体験	40名

(3) 一般廃棄物行政連絡会議

平成24年度は、市町のニーズに応じてタイムリーな話題なども取り上げながら、市町の一般廃棄物行政における課題に対する意見交換や、ごみゼロプラン推進モデル事業の成功事例の紹介、全国的な先進事例等の紹介、ごみ行政の最新の話題の提供などを実施していきます（図3）。

また、前述の地域ごみゼロネットワークにおける地域ごみゼロネットワーク会議での検討状況を報告するなど、地域ごとの会議との連携を図っていきます。

図3 一般廃棄物行政連絡会議の開催イメージ



2 生ごみの減量化に向けた取組

(1) もったいない普及啓発事業

生ごみの削減や資源化を進めるため、小学生にごみ問題の現状から実際の行動事例までを分かりやすく伝えることで、家庭での取組を進めてもらうため、平成24年度は、食生活改善推進員等と連携し、小学生向け研修会の実施やモデル的に小学校で出前授業を行うなどの取組を進めていきます（資料5）。

また、生ごみの削減、資源化を進めるためには、市町の収集や処理などのハード面の対応との連動が必要なため、将来的には、このソフト事業の展開は、ハード面と連動した形で市町により行われることが効果的であると考えられることから、この事業の取組の市町への普及を図っていきます。

(2) 食品リサイクルループ認定事業

平成23年度実施のアンケート調査で出された課題の整理を行い、食品リサイクルループの制度設計を進めます。

県農林水産部等関係部局、学識者、市町、排出事業者、堆肥化事業者、農家等関係者による検討会を設置し、制度骨子について検討していきます。

(3) ごみ処理システムの最適化

今年度当初に、三重県市町ごみ処理カルテのツール及び操作・活用マニュアルを各市町に配布いたしました。平成24年度は、このツールを用いて他市町との比較を行って自市町の強み、弱みを分析するなど、各市町においてごみ処理カルテを活用していただけるよう、ツールの活用の仕方について事例を交えて研修を行います。

また今後は、毎年度のデータ更新を行うとともに、市町がごみ処理カルテを用いてごみ処理システムを改善していく際の事例調査などに対して、情報提供などの支援を行っていく予定です。

＜市町ごみ処理カルテの主な指標と客観的評価に対する改善施策例＞

指 標	指標を改善する施策例
人口一人当たりごみ総排出量	環境学習・教育などの啓発広報、家庭ごみ有料化
資源化率	分別の徹底（指定ゴミ袋）、生ごみの資源化（堆肥化など）
資源としての再利用率	不用品リサイクルの推進、リターナブル容器の導入支援
廃棄物のうち最終処分される割合	分別の徹底（指定ゴミ袋）、上記施策の推進
人口一人当たりの年間処理費用	家庭ごみ有料化、ごみ処理コスト見直し

3 ごみゼロ普及啓発

平成24年度も、ごみ減量化の普及啓発のため、ごみゼロキャラクター「ゼロ吉」を活用した効果的な広報を行っていきます。